

■豪州：AGL エナジー、電力会社として世界で初めて家庭用蓄電池を販売

オーストラリア大手電力会社の AGL エナジーは 2015 年 5 月 1 日、小売電力会社として世界で初めて、家庭向け蓄電池を販売すると発表した。容量 3~4.5kW の太陽光パネルを設置した標準的な家庭を想定し、台数限定で販売する。蓄電池は大き目のスーツケース程度としている。同月 22 日付の現地報道によると、初期モデルは、台湾の AU Optronics 社製のリチウムイオン電池（蓄電池容量 7.2kWh、3kW のインバータ付き）で、クイーンズランド州で今年 6 月から販売される模様である。価格は公表されていない。2015 年後半以降、さらに大きいサイズも販売するとのこと。同社は、電気の供給とともに、太陽光パネルと蓄電池、スマートメーターのデータを活用し、需要家自ら電気の使い方を管理できるオーダーメイドサービスの提供を指向している。米国テスラ社の家庭用蓄電池「パワーウォール」が豪州で販売されるのは早くとも 2016 年初になると見られ、AGL エナジーはそれに先駆けて蓄電池を販売することになる。